



なぎちょう 奈義町 議会だより

3月議会



奈義の美しい滝シリーズ 志門の滝 (名木の城跡のふもと)

138号

平成28年5月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868) 36-4191

【おもな内容】

- 3月議会で決まったこと 2 ~ 4 ページ
- 平成28年度予算 5 ページ
- 一般質問 (8名) 6 ~ 13 ページ
- 委員会・組合議会・政務活動費 14 ~ 15 ページ
- 臨時議会・視察受け・編集後記 16 ページ

・在宅育児支援金など 支援策を決定

『条例』

3月定例議会は、3月10日から24日まで、15日間行われ、条例21件、当初予算12件、補正予算8件、同意2件、その他6件、選挙1件、規則2件、意見書3件、陳情3件、計58件を審議、決定。8名の議員が一般質問を行いました。

○奈義町空家の適正管理に関する条例

この条例は、空家について、著しく危険等の空家を特定空家と指定し、持ち主に、指導、監督し、やむを得ない場合、町が空家撤去の代執行を行うことを規定するものです。

○奈義町在宅育児支援手当支給条例

この条例は、子どもを保育園に通園させずに、自宅で育てている世帯に、月額1万円の手当を支給するものです。

議員から、根拠や財

源、一律支給には問題がある、との反対意見がありました。

（賛成8、反対1桑村議員）

○奈義町出産祝金支給条例

現行の制度に、1子目10万円、2子目15万円の支給を新たに設けるものです。

（賛成8、反対1桑村議員）

○奈義町議會議員の議員報酬等に関する条例、○町長及び副町長の諸給与に関する条例、○教育長の給与及び勤務時間に関する条例

以上の条例は、議員、

町長など特別職の一時金を人事院勧告に伴う、給与引き上げに沿って、引き上げる条例の一部改正です。

議員から、根拠や財

○奈義町高等学校等就学支援金支給条例

現行の、年額6万円を9万円に増額するも

（全員一致）

桑村議員から、増額の根拠、財源、一律支給には問題がある、との立場から反対討論がありました。

一方、森藤議員からは、高校生への就学支

援金から、人事院勧告に沿って、今回、引き上げるものであるが、町民の生活が厳しい中、そうした事にも思いを馳せる必要がある、との指摘がありました。（以上、全員一致）

○奈義町立幼稚園預かり保育使用料徴収条例、及びなぎ放課後児童クラブ設置条例

この2つの条例は、放課後学童ホーム利用料を、現行の月額1万円から、6000円に引き下げるものです。（全員一致）

○奈義町課・室設置条例

「こども・長寿課」、「建設上下水道課」を、「地域整備課」に、また、新たに、「まちづくり戦略室」を設置しました。（全員一致）

この他、○奈義町行政不服審査会設置条例、○地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例など、11件を審議、決定しました。（以上、全員一致）



新設の「まちづくり戦略室」

議員から、人事院勧告に沿って、今回、引き上げるものであるが、町民の生活が厳しい中、そうした事にも思いを馳せる必要がある、との指摘がありました。（以上、全員一致）

援金は、保護者からの強い要望に基づくものであり、今回、増額は妥当な事である、と賛成討論がありました。

○奈義町立幼稚園預かり保育使用料徴収条例、及びなぎ放課後児童クラブ設置条例

この2つの条例は、放課後学童ホーム利用料を、現行の月額1万円から、6000円に引き下げるものです。（全員一致）

○奈義町課・室設置条例

この2つの条例は、放課後学童ホーム利用料を、現行の月額1万円から、6000円に引き下げるものです。（全員一致）

○奈義町課・室設置条例

「こども・長寿課」、「建設上下水道課」を、「地域整備課」に、また、新たに、「まちづくり戦略室」を設置しました。（全員一致）

この他、○奈義町行政不服審査会設置条例、○地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例など、11件を審議、決定しました。（以上、全員一致）

3月 定例議会

平成28年
3月10日～24日

保育料引き下げ 子育て

- 一般会計補正予算（第5号）
- 歳入、歳出に、それぞれ8000万円を追加補正するものです。
- ▼ 主な歳入は、国庫補助金－7986万円などです。
- 審査が行われました。（別紙、参照）
- 一般会計補正予算（第6号）
- 歳入、歳出に、それぞれ5700万円を追加補正するものです。
- ▼ 主な歳入は、町民税－3070万円、地方消費税交付金－3000万円、国庫支出金－2078万円、町営住宅使用料－330万円などです。
- ▼ 主な歳出は、国民健康保険会計への繰出金－3000万円、路線バス維持交付金－減額の繰り上げ償還－380万円などです。
- 一般会計補正予算（第6号）

【農業委員11名】

氏名	住所	年齢(歳)
小童谷 基行	中島東	65
花房 則道	荒内西	42
柴田 正柿	柿	74
芦田 熱	滝本	67
森安 伸行	豊沢	69
國富 良幸	西原	73
福元 芳弘	広岡	63
岡本 誠	高円	65
杉山 正修	荒内西	66
芦田 修	関本	60
木村 弘始	上町川	63



農業委員会任命式

- 中央浄化センター等については、有限公司田村商事へ。それぞれ委託しました。期間は、3年間です。（全員一致）

- 特別会計補正予算（第5号）
- 歳入、地造成、介護保険など、7件を補正しました。（以上、全員一致）
- ▼ 農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることに
- 3070万円、地方消費税交付金－3000万円、国庫支出金－2078万円、町営住宅使用料－330万円などです。

△ 同 意

- 奈義町まちづくり総合計画
- 町長が任命した農業委員について、議会が同意しました。（以上、全員一致）

△ その他

- 奈義町まちづくり総合計画
- 向こう10年間の町づくりの方向を決める計画です。
- 人口6000人維持に向か、子育て支援等々

- 奈義町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
- 町長が任命した農業委員について、議会が同意しました。（以上、全員一致）
- 奈義町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
- 町長が任命した農業委員について、議会が同意しました。（以上、全員一致）

△ 指定管理者の指定について

- 小規模多機能型居宅介護施設「奈義つくし園」について、社会福祉法人慈風会へ。
- ひとり暮らし老人等共同生活住宅並びにふれあいセンター「やまびこ荘」は、特定非営利活動法人「シングプール」は、奈義町社会福祉協議会へ。
- 介護予防施設「ウォーキングパーク」は、奈義町社会福祉協議会へ。
- 風まくらへ。
- ひとり暮らし老人等共同生活住宅並びにふれあいセンター「やまびこ荘」は、特定非営利活動法人「シングプール」は、奈義町社会福祉協議会へ。
- 小規模多機能型居宅介護施設「奈義つくし園」について、社会福祉法人慈風会へ。

の柱を立て、それぞれの目標を明らかにしています。この間、2回にわって、議員から意見を聞く機会が設けられ、出された意見が総合計画に反映されました。（全員一致）

つき同意を求めるにについて新たに任命する農業委員の構成で、認定農業者の割合を緩和するものです。

- 平成28年度一般会計、国民健康保険特別会計など、12件については、予算特別委員会に付託し、審査が行われました。（別紙、参照）

△ 補正予算

- ▼ 主な歳出は、まち・ひと・しごと事業の委託料－8730万円などです。
- ▼ 主な歳出は、まち・ひと・しごと事業の委託料－8730万円などです。
- ▼ 主な歳出は、まち・ひと・しごと事業の委託料－8730万円などです。

選 舉 會

○選挙管理委員及び補充員を選出しました。

意 見 書



自衛隊

自衛隊は、安保法により変貌しようとしている。こうした中で、演習場の強化が言われているが、オスプレイの飛来など、町民の安全を守る立場から容認できない、と反対討論。桑村由和議員も、自衛隊に対し卑屈な内容となっている。もっと主張的な陳情に基づき、2件の意見書として提出しました。（全員一致）

○陸上自衛隊日本原駐屯地の現行体制維持と充実を求める意見書

この意見書は、議会の演習場対策特別委員会（中井委員長）が提出したもので、自衛隊は、

提案理由を述べました。これに対し、森藤議員は、人口が減るのは困るとの思いは共有するが、今、自衛隊は、安保法に

減ることは大変であり、部隊の維持と、充実、演習場の強化を求める、と

防衛大綱などには、戦車や特科の部隊を削減するとの計画がある。人口が

ある、と述べ反対しました。これに対し、岡（親）議員が、自衛隊の削減は、奈義町の町づくりにとって大きな痛手。部隊の維持と演習場の充実・強化を求める、と賛成討論を行いました。

（賛成7、反対2）

その他、○少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書（案）など2件は、全員一致で採択されました。

陳 情

○公的病院等に対する特別交付税制度利用による助成に関する要望

日本原病院、奈義ファミリークリニック等を経営する、清風会から提出されていたもので、意見を付けて採択しました。

その他の、前述の陳情採択に基づき、2件の意見書として提出しました。（全員一致）

【陳情】

陳情名	提出者	結果
公的病院等に対する特別交付税制度利用による助成に関する要望	清風会（日本原病院、奈義ファミリークリニック等を運営）	意見を付けて採択（全員一致）
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について	岡山県教職員組合美勝英支部 支部長 中江 則彦	採択（全員一致）
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本久美子	採択（全員一致）

【意見書】

意見書名	結果
少人数学級の推進などの定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書（案）の提出について	採択（全員一致）
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書（案）の提出について	採択（全員一致）
陸上自衛隊日本原駐屯地の現行体制維持と充実を求める意見書（案）について	賛成多数（賛成7、反対2）

町民に役立つ予算へ

平成28年度予算

主な事業

子育て支援

- 在宅育児へ子ども1人当たり、月額1万円を支給—在宅育児支援事業

家で育児をしている世帯（幼稚園までの児童）に、子ども1人当たり月額1万円を支給するもの。

- 高等学校等就学支援金の増額

現行、年額6万円支給を、9万円に増額するもの。

- 保育料の引き下げ

現行、国基準の80%を55%まで引き下げるもの。

高齢者対策

- 高齢者生活応援券支給事業

昨年に引き続き、12,000円分を支給するもの。65歳以上の高齢者に支給されます。

- 在宅介護支援事業（やすらぎ福祉年金）

要介護認定者で、在宅で介護している方に、手当を支給します。

その他、産業・観光振興など

- 野菜の地産外商推進事業

地域おこし協力隊による、地元産の野菜を広く販売する事業。

- 特産品開発・

6次産業推進事業
町内者の特産品開発などに支援を行います。



菜の花を楽しむ来町者

通りです。主な質問、検討事項は次の通りです。
委員会での主な質問、検討事項は次の通りです。
た。月15日、16日付託され、3と審議。可決し決定しました。

A .. 4月1日から1年生の
Q .. 放課後児童クラブを土曜日に行う考えは。

A .. 菜の花栽培用の堆肥などの費用に対する補助金である。

A .. 國際交流事業交換、幼稚園、小・中学校で英語教育の支援をしながら文化交流を進めたい。

A .. 国際交流員を置き、幼稚園、小・中学校で英語教育の支援をしながら文化交流を進めたい。

Q .. 農業と観光推進事業交換金の内容は。

Q .. 農業と観光推進事業交換金の内容は。

A .. 大規模施設は接続済みであり、大きく増える見込みはないができるだけ接続率を増やしたい。

Q .. 津山圏域東部衛生施設組合清算特別会計では、28年度で調査、29年度で取り壊しを行うことになっている。工事が完了すればこの会計は廃止となるのか。

Q .. 企業ふるさと納税寄付金予算500万円は何社くらいを想定しているか。また子育てを応援するなど目的をはっきりしてはどうか。

一般会計

予算特別委員会報告

み実施する。時間は午前7時30分から午後6時までとする。（全員一致）

（後期高齢者医療特別会計は反対1、その他は全員一致）

特別会計

8議員が町政を問う!!

一般質問

Q 積極的予算への意気込みは



岡部 英生 議員

A 新たなまちづくりの第一歩に



子育て支援に力を

質問 平成28年度一般会計予算額40億円、「奈義町の未来に向けて、6000人への挑戦」の中身は。

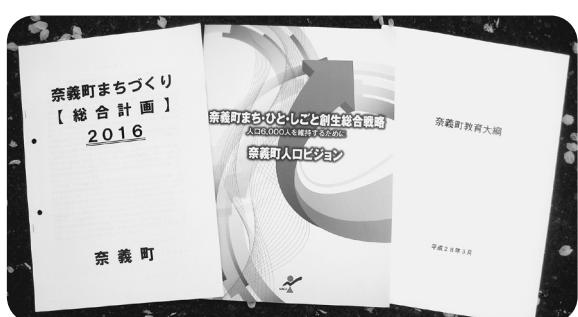
答弁 町長 本年度の予算については、人口6000人の維持に向けた、新たなまちづくりの第一歩となる予算編成である。地方創生の実現に確実な道筋を示すとともに、町民に実感のある成果を届けることを方針とする。主な事業は、子育て、教育の面では家庭内保育の支援を行う在宅育児支援事業、高等学校等就学支援金の拡充、出産祝い金の拡充、保育料をはじめ幼稚園の預かり保育と小学校の放課後児童クラブ利用料の

軽減。経済面では、野菜の都市部への地産外商推進事業、特産品開発企業支援事業、6次産業化支援事業。高齢者の面では、昨年に続き年額1万2千円の高齢者生活応援券事業。環境面では、地区空家調査事業などである。そして教育と子育て支援の推進は昨年策定した総合戦略の中でも人口を維持していくための最重要施策に位置づけている。

質問 Q 奈義町教育大綱は5項目の基本目標を定める

この3月に策定され

答弁 教育長 本町のこれまでの教育の成果や課題を踏まえ総合教育会議において審議し策定した。教育大綱は、本町の教育の基本的な理念や方向性を示すものであり、奈義の子どもたちが自立した人間としてたくましく生き、社会とかかわる力を身につけ、郷土、奈義を大切に思い、他方、世界に視野を広げてよりよい社会づくりに参画する人材を育てることなど5項目の



奈義町まちづくり体制



岡 親佐 議員



手狭な100人の食を賄う調理室

将来の幼稚園構想も含めて有識者のアドバイスをもらいながら、よりよい環境整備に向け検討していくことをしたい。

答弁 町長 観光DMOの事業を推進していく中で、

Q 豊沢住宅の跡地をどうする

A 人口維持の為に有効活用

質問

若者定住には住宅が必要となる。豊沢住宅跡地はどのような計画があるのか。

答弁 町長

豊沢住宅跡地

の利用方法は、※¹タウンプライドに基づいて将来を見据え、国の交付金を活用しながら、※²グランドデザインの中で検討する。本町の発展、人口6000人維持のために有効に活用したいと考えている。

質問

若者定住には住宅が必要となる。豊沢住宅跡地はどのような計画があるのか。

Q 保育園の新設と職員の充実を挙げて
A 物心両面で町を

質問

子育て支援に配慮されているが、保育園の新設と、保育士の充実が図れないと。

答弁 町長

入園待機者が園児の年令や人数に合せて保育士の確保に努める。また、保育園の改築・増築は、

Q 山の駅の駐車場の整備を
A 駐車場の確保は重要課題である



近くにほしい駐車場（山の駅）

「山の駅」は重要な施設であり、さらなる来場者が見込まれる。駐車場の確保は重要課題であり、今後、十分検討する。

質問

上の段に一時的にバスの駐車場はできないか。

答弁 町長

景観

を考えてつくったところであり、一時的とは言え、車を停めるということは全体的な景觀をそこなう心配がある。別の適当な場所を検討したい。

※①タウンプライドの姿を「共有し続けるもの」として構築する「まちづくりの哲学」や「まちのイメージ」

※②グランドデザインタウンプライドを基に町民が実感できる「50年後のまちの姿」を見る化したもの

Q 「奈義町は消滅しない」この理念で町づくりを



森藤 政憲 議員

A 消滅させないよう頑張る

質問 奈義町のアピールがますます重要となっている。車の車体に、奈義町の宣伝物を貼つてもらい、奈義町を広く宣伝してはどうか。

Q 車の車体にアピール広告を貼つて奈義町の宣伝を具体的に進めたい

答弁 町長 奈義町を消滅させないよう、その立場で町づくりを進めることが肝心ではないか。また、道州制に反対し、将来も合併をせずに頑張る決意を伺いたい。

答弁 町長 奈義町を消滅させないよう、その立場で町づくりを進める。道州制は、地方の切り捨てにならないかねない。いつまでも奈義町を残せるよう、合併をせずに頑張る決意である。

質問 日本創生会議の増田に「地方は消滅する」との考えが流布されているが、人口減少で町村が消滅する事はない。「奈義町は消滅しない」、この立場で町づくりを進めることが肝心ではないか。また、道州制に反対し、将来も合併をせずに頑張る決意を伺いたい。

質問 奈義町のアピールがますます重要となっている。車の車体に、奈義町の宣伝物を貼つてもらい、奈義町を広く宣伝してはどうか。

Q 車の車体にアピール広告を貼つて奈義町の宣伝を具体的に進めたい

答弁 町長 奈義町としては、きちんと対応している。今後とも、必要な人は取得できるよう取り組んでまいりたい。

質問 今、全国で、生活保護が取得しにくい状況がある。生活保護をもらうのは恥ずかしいこと、との思いもあるが、この考え方の克服も含め、取得しやすいようにすべきと思うが。

Q 生活保護を取得しやすいようにきちんと対応している



いつまでも奈義町を残して欲しい…

質問 奈義町は、箱物建設とソフト事業をバランスよく進めてきた。その姿勢が子育て支援の財源にも活かされた、と思っている。

答弁 町長 紙物

の問題は、奈義町職員の平均年齢が若く、平均で言えば、他の町村より低くなっている。比較の仕方が妥当でない。

質問

NHKの放送の中で子育て支援策の財源問題が言われた。職員の給与を削つて財源を作ったように言われたが、これは間違いでは。基本は、福祉に重点を置いて財政運営があったからこそ、子育て支援策が進んだと思うがどうか。

Q 福祉に重点を置いた財政運営が子育て支援策を推進したのでは

A バランスよく財政運営

てみたいと思う。セミナーのようない形も検討してみたい。

質問 未婚の若者を抱えた保護者は、なかなか他人に言えない悩みがある。交流会（懇談会）を開いてみてはどうか。

Q 未婚の若者を抱えた保護者の交流を開催したい

答弁 町長 懇談会を開いてみたい。

懇談会を開いてみたい。

質問 未婚の若者を抱えた保護者は、なかなか他人に言えない悩みがある。交流会（懇談会）を開いてみてはどうか。

Q 未婚の若者を抱えた保護者の交流を開催したい

ますます重要な奈義町の宣伝物を貼つてもらい、奈義町を広く宣伝してはどうか。

答弁 町長 紙物

の問題は、奈義町職員の平均年齢が若く、平均で言えば、他の町村より低くなっている。比較の仕方が妥当でない。

Q 福祉に重点を置いた財政運営が子育て支援策を推進したのでは

A バランスよく財政運営

てみたいと思う。セミナーのようない形も検討してみたい。



安藤 榮一 議員

Q 民間賃貸住宅の有効活用は

A 検討をする

質問 さらなる若者の定住化を図るため、民間賃貸住宅の活用や連携を図り、積極的に若い夫婦が本町に定住しやすい住宅環境の整備推進をはかるため、具体策を検討してはどうか。

答弁 町長

総合戦略に従い、多角的な視点から検討していく。



民間賃貸住宅の有効活用は

質問 用水路や側溝などへの転落防止事故を防ぐための効果的な安全対策は。

答弁 町長

今後も、地元関係者と調整所の調査をする必要がある。

A Q 転落防止対策は
安全対策に努める



転落防止柵が必要な危険箇所

質問 岡山県内で教育関係者の不祥事が続出し、教育の信頼を揺るがす異常事態となっている。教員の資質向上を図っていくべきだと考えるが、いかがか。

答弁 教育長

これまで以上に信頼される学校を目指し、全ての教職員が全力で取り組んでいく。

A Q 教員の資質向上は
全力で取り組む

を図りながら安全対策に努めていきたい。

質問 学習指導要領に基づき、小中学校の授業で新聞を活用する取り組みが広がりを見せている。新聞は、メディアアリテラシー（媒体）をはぐくむ中核的役割を担うと考えるが、どうか。

答弁 教育長

新聞活用教育を推進することを文部科学省が強く求めている。今後も取り組みを続けていきたい。

A Q 新聞活用教育は
取り組みを続ける

質問 スマホを低年齢から長時間使用することによる、身体の育ちへの悪影響に目を向けた予防が必要であると思うが、考えは。

答弁 教育長

非常に重要な観点であり、継続的に関係課とも調整しながら一生懸命に対応していく。

A Q 子どもとスマホは
一生懸命、対応する

Q 子育て支援の財源は



桑村 由和 議員

A 過疎債と未来基金を充てる



増額された就学支援金

質問 税込2020年から大学への支給金額の増額は考えていない。

質問 2020年から大学への支給金額の増額は考えていない。

質問 在宅育児支援金と高等学校等就学支援金の増額分は、所得等を考慮して支給したらどうか。

答弁 町長 せっかくお金が出しながら何か文句がでたり、後から苦情ばかり聞くことになるので一律にしている。

質問 婚活イベントは、今後も随時行っていく予定があるのか。

質問 婚活イベントは、今後も随時行っていく予定があるのか。

考えているか。

答弁 町長 町内に中学校があるので考えていない。

ある。

質問 増額された就学支援金も対応できる。

答弁 町長 ハローワークと連携しながら税務課、産業振興課で

Q 竹本容器の転勤者の住宅確保はどうするのか

A 町内に住んでいたぐように協議中である

質問 東山工業団地が完売した。誘致企業の従業員の雇用について、奈義町役場が無料職業斡旋登録を行い積極的に就職斡旋をおこなってはどうか。

質問 新規に親世帯などと同居などを行う世帯について、リフォーム助成は今のところ考えていない。

質問 他市町村で行っているが、町内の民間による賃貸住宅の建設や家賃に補助金を出して、定住化を図ってはどうか。

質問 豊沢住宅の跡地利用を優先的に検討したい。

Q 定住、移住者の窓口を設けてはどうか

A 従来通りの対応を考えている

質問 移住をする人や結婚などで定住する人が、住宅・就職・子育てについて一括に聞くことと思うが、このように各課をわたつての内容が含まれ、相談する側としては、その都度、担当課が変わり担当者も変わることが思うが、担当課か、専便である。面倒なことではある。面倒なことではあると思うが、担当課か、専門課の担当者を数名置き対応する必要があると思うが、専門課の担当者を数名置き対応する必要があると思うが、専門課が移住相談窓口であるので、今の体制で考えていく。



バレンタイン婚活

Q 「菜の花まつり」を成功させたい



鷹取 渡 議員

質問

4月17日に、中央芝生広場を中心に「菜の花まつり」が開催される。豊沢・成松・宮内の皆さんに、約

15haの圃場に菜の花の種をまいていただき、この春には一面黄色いじゅうたんを敷きつめた風景が見られる期待している。「菜の花まつり」は一日だけの予定だが花は長く咲いているので、少し長い対応が必要ではないか。多くの団体や町の職員だけでは限りがあり町民さんの協力がなければ成功しない。この「菜の花まつり」を奈義町の観光の発展につなげたいと思うが。

答弁 町長

本町が28年度

から本格的に進める戦略的観光まちづくり、観光DM

Oは、観光協会をはじめ多くの団体や町民ボランティアが主体的に参加していたが、だかなければ成功しない。

「菜の花まつり」には多く

A 町民皆様に、ぜひお手伝いを

展につながっていくと思う。



菜の花まつり

質問 町内各地でカラスが増え、200羽位が群をつくると気味が悪い状況だ。

Q カラスが増えて被害が出ているが：
A 交付金の支給やカラス捕獲おりで

最近、飼料米のロールに穴をあけたり配合飼料をつい

ばむ被害が出て、酪農や肥育農家は困っている。町はどんな対策を取っているか。

答弁 町長 国の鳥獣被害

防止対策・町の畜産振興協議会の交付金を出し、駆除依頼やカラス捕獲檻を設置している。昨年は1000羽位は駆除しておりWCS

のロールにはネットなどを張ってもらっている。

また、3月上旬にはカラスを対象に駆除許可を出し、捕獲してもらっている。

質問

4月17日に、中央芝生広場を中心に「菜の花まつり」が開催される。豊沢・成松・宮内の皆さんに、約

15haの圃場に菜の花の種をまいていただき、この春には一面黄色いじゅうたんを敷きつめた風景が見られる期待している。「菜の花まつり」は一日だけの予定だが花は長く咲いているので、少し長い対応が必要ではないか。多くの団体や町の職員だけでは限りがあり町民さんの協力がなければ成功しない。この「菜の花まつり」を奈義町の観光の発展につなげたいと思うが。

答弁 町長

新クリーンセ

ンターが本格稼働し、捕獲殺処分したイノシシや鹿など焼却処分が可能となつた。半透明のビニール袋に入れる条件で、駆除許可証を提示すれば無料となる。

ペットの焼却処分は1頭当たり500円が必要とな

質問 猪友会の駆除により農作物の被害も減り感謝している。死んでいたり、肉加工のできないものを新クリーンセンターで焼却できるか。また、ペットとして飼っている犬や猫なども死んでしまった時も焼却が依頼できるか聞きたく。

答弁 町長

新クリーンセ

ンターが本格稼働し、捕獲殺処分したイノシシや鹿など焼却処分が可能となつた。半透明のビニール袋に入れると条件で、駆除許可証を提示すれば無料となる。

ペットの焼却処分は1頭当たり500円が必要とな



Q 子育て支援の今後は

岡 立 議員

質問

奈義町の子育てでは、いつも他町村の一歩先を行っている。今年度も、多くの支援策がもり込まれた予算編成となつた。中でも、家庭で子育てをする家族に月1万円の支給が始まることは、新しい一步で、お母さん達の価値観の違いを認め、選択肢が一つ増えたと感じられるが、今後もさらに子育ての応援は続ける必要がある。

北欧のフィンランドでは、「ネウボラ」と呼ばれる場所があり、妊婦さんが全員登録をして、一人の妊婦さんに、一人の相談相手が決められ、小学校に入学するまでの担当する。奈義町版のネウボラができれば、出生率も安定すると思うがどうか。

答弁 町長 子育て支援は、他町村に先がけ拡充を図ってきた。今後は、施策の増額はせず、環境整備や魅力ある教育の推進に向けて、力を入れる。幼稚園、保育園の庭の芝生化もその中の一つである。フィンランド

質問
A ニーズ調査 分析
町民一体が鍵

町版「CCRC」とは、空家等を活用し、移住者を受け入れる。町民には移住者の受け入れ態勢に協力を願いたい。

Q まちづくり、町民参加の今後は

のネウボラも含め他からしっかりと知識を取り入れ吸収しながら検討していきたい。
○よく練られた計画、
○元気に活動、
○しつかり検証、この3点がそろわなければ、未来へつながる良い事業は実施できない。町民に分かりにくいDMO、CCRCとは何か。また、どのように参加をするのか。町民一体となるには、ボランティアも欠かせないし、町民の意識の高まりがまず必要ではないか。



特色ある教育（芝が張れた幼稚園庭）

をぜひお願いしたい。奈義町版「CCRC」とは、空家等を活用し、移住者を受け入れる。町民には移住者の受け入れ態勢に協力を願いたい。

また、ボランティアについては、達成感のある、思い出に残る方法にしたいと考えている。皆さん意見を聞き、反省をし、また、前に進んで行きたい。



芦田一郎 議員

Q 美作国連絡協議会等の 広域連携が必要と考えるが

A 作州津山商工会をはじめ、広域 的に連携し、創業者を支援する

質問 将来、人口減少推計
がなされる中で、作州津山
商工会では数年前から創業
塾が開かれ、地域金融機関、
国補助等に関する手続き、
書類作成等の支援を行って
おり、徐々に実績がでてき
ている。そういった中で、
奈義町行政において創業支
援事業が実施されれば、大
変すばらしい事であり、奈
義町に希望の灯がともり、大
変将来が明るくなる思いだ。
そのためには、各分野の専
門知識者との連携が必要で
あり、作州津山商工会をは
じめ、津山広域事務組合、
津山商工会議所、美作の国
連絡協議会等、広域連携が
必要であるのではないか同
う。

答弁 町長

町では、新規
創業支援事業「ワントッ
プ相談窓口」を設け、奈義
町創業支援事業計画を策定
し、経済産業省に、認定申
請書を提出している。



起業者支援事業で起業



質問 平成28年3月奈義町
議会定例会において、奈義
町空家の適正管理に関する
条例が可決されたが、危険
物がぶらさがっている状態
を、この条例のなかで、安
全、安心が確保できるのか、
伺う。

答弁 町長 個人の財産に
は、行政も、地元の皆さん
も手が出しにくく、行政の
代執行には、撤去費用が必
要となる。放っておけば、
町が処分してくれる、とい
う考えになるといけない。
個別の事案として、担当課
の方で検討する。

Q 危険物がぶらさ
がっている状態
で空家の適正管
理は
A 錚意努力してい
きたい

NHKスペシャルの反響は

委員会報告

総務常任委員会

3月4日、所管事務の調査を行つた。主な質疑は次の通り。

問..NHKで放送された、子育て支援特集の反響

答..全国各地から問い合わせがあり、奈義町がアピールできるきっかけになつた。

問..子育て支援が目立つて、高齢者対策がおろそかになつていなか。

答..決して高齢者の支援が薄いということではない。高齢者支援にも力を入れている。



NHK出演の子どもたち

問..幸せリーグの荒川区とはどのような特徴があるのか。

答..荒川区の区長が進めている自治体連合で、情報交換等を行い、DMO、CCRの推進を図る。

問..町の窓口で、マイナンバーを書かないと受付してもらえないのか。

答..書けない理由があれば了解を得て記入している。

問..東部衛生施設組合の、取り壊しの内容は。

答..ストックヤードと管理棟を残す。

3月7日、委員会を開催し所管事務の調査を行つた。主な質疑は次の通り。

問..特定空家は、どういうものを認定するのか。

答..放置すれば倒壊もしくは、著しく危険となるもの。衛生上有害となるもの。

問..幼稚園などの芝生の植付けは、年度内にできるか。またメンテナンスは。

答..3月末には完了する。

答..3月末には完了する。

3月7日、委員会を開催した。

問..有害鳥獣の対策に28年度も助成はあるのか。

答..28年度も実施する。

問..農業委員に会社員がいるが、会議等に支障はないか。

答..仕事は休めるということがで了解している。

問..「山の駅」の指定管理の考えはあるのか。

答..存在価値を考えながら将来的に検討する。

3月18日、委員会を開催した。

産業振興課より婚活推進のバレンタインカップリングパーティーの様子を報告してもらつた。委員会にできること、今後の活動について話し合い、7月に自身の子を持つ親との懇親会を開く事を決定して閉会した。

特演別習場員対策

2月16日、3月7日の両日、委員会を開催した。

『陸上自衛隊日本原駐屯地の現行体制維持と充実を求める意見書(案)』の内容について検討を行つた結果、国に対して、住民の代表として意思を示すべきとの意見があり、全員一致で意見書を提出することに決定した。

問..職員と臨時職員のスタッフでスタートしている。

答..給食の地元食材利用率が60%であるが28年度はどうなるのか。

答..昨年並みにできるよう地元産を利用していく。

特別委員会

3月18日、委員会を開催した。

産業振興課より婚活推進のバレンタインカップリングパーティーの様子を報告してもらつた。委員会にできること、今後の活動について話し合い、7月に自身の子を持つ親との懇親会を開く事を決定して閉会した。

組合議会の報告

多目的消防車を購入



**消津
防山
組圏
合域**

2月18日、定例会が開催され、補正予算55万円。平成28年度予算25億1010万円と決定した。ポンプ付救助工作車、多目的消防車等を購入の予定。

2月22日、職員意見発表会があり、12名が出場。最優秀賞に、浅津氏（久米南分署）が選ばれ、県大会へ出場することとなった。

（岡立議員）

**施勝
設英
組衛
合生**

2月19日、定例会が開催され、平成28年度予算1億1050万円と決定した。本町の分担金は1713万円、し尿処理数量は、2486klとなっている。

（小阪、桑村議員）

事務組合

2月19日、定例会が開催され、平成28年度予算3億5930万円と決定した。また、平成27年度補正予算2335万円を減額し、3億4345万円とした。

（岡親佐、中井議員）

循環施設組合

2月19日、定例会が開催され、平成28年度予算12億1913万円と決定した。奈義町の分担金は2942万円となつた。

2月23日、定例会が開催され、平成28年度予算1億906万円と決定した。奈義町の分担金は1354万円となつた。

（芦田、鷹取議員）

**施勝田郡老人福祉
設組合**

2月23日、定例会が開催され、平成28年度予算1億906万円と決定した。奈義町の分担金は1354万円となつた。

**勝英農業共済
事務組合**

2月19日、定例会が開催され、平成28年度予算3億5930万円と決定した。また、平成27年度補正予算2335万円を減額し、3億4345万円とした。

（岡親佐、中井議員）

平成27年度後期分政務活動費一覧表

（平成27年10月～平成28年3月）

議員氏名	収支報告額（実績） 単位：円					支給決定額	政務活動費の主な使い道
	調査研究費	研修費	資料購入費	広報費	合計		
桑村由和	14,489	9,504		23,993	23,993	研修費（市町村議会議員特別セミナー受講）、資料購入費（シリーズ田園回帰）	
中井泰洋	26,027			26,027	26,027	調査研究費（農業・地域づくりの先進地、自衛隊関係の視察／関西方面）	
岡立	32,490	2,000		34,490	34,490	研修費（地方議員研究会セミナー受講）、資料購入費（リーダーを育てる会議術）	
岡親佐	26,027			26,027	26,027	調査研究費（農業・地域づくりの先進地、自衛隊関係の視察／関西方面）	
鷹取渡	26,027		9,504	35,531	35,531	調査研究費（関西方面）、資料購入費（シリーズ田園回帰）	
安藤榮一	26,027			46,332	72,359	60,000	調査研究費（関西方面）、広報費（「安藤だより」発行）
芦田一郎			4,944		4,944	4,944	資料購入費（地方公共団体式辞・あいさつ事例集）
森藤政憲			7,931	2,400	10,331	10,331	資料購入費、広報費（「森藤まさのり議会だより」発行）
岡部英生	26,027		4,928		30,955	30,955	調査研究費（関西方面）、資料購入費（「愛の物語」他）
小阪四郎			55,303		55,303	55,303	資料購入費（シリーズ田園回帰、「ガバナンス」購読料、「地方議会人」購読料他）
計	130,135	46,979	94,114	48,732	319,960	307,601	

3月18日にクリーンセンターの竣工式が行われ、4月1日本格稼働が始まった。なお、ごみは指定の袋に入れて下さる様お願いします。（小阪、鷹取議員）



出来上がった芝生の庭

臨時議会報告

第1回臨時議会 2月5日

《補正予算》

- 一般会計補正予算（第4号）地域再生計画策定支援事業の計画委託料

1012万円

（全員一致）

第2回臨時議会 2月24日

《契約》

- 町有財産売買契約の締結
- ・相手先 竹本容器株式会社

1億564万円
(全員一致)

視察

丹波市（兵庫県）が視察に

「子育て支援策等が目的」

2月18日、兵庫県丹波市の日本共産党議員団が奈義町に視察に見ました。



子育て支援を視察に



東山工業団地調印式 竹本容器株式会社

2月24日、役場において東京に本社を置き、化粧品・食品・医療品向けのプラスチック製包装容器の製造及び販売を行っている竹本容器株式会社と、の立地調印式が行われました。

2月24日、

〈災害お見舞い〉

熊本地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された方々へ衷心よりお見舞い申し上げます。

大規模太陽光発電事業計画についての説明会

4月6日、(株)NDSによる奈義町メガソーラー推進協議会プロジェクトにおける進捗状況の報告と今後完成に至るまでの説明会が開かれ、全議員が出席しました。

内 容

- ・今後の事業推進計画と将来構想
- ・農地転用と農業者の声
- ・開発の手順 等々

議会事務局異動

4月1日付けて、人事異動がありました。

（新）事務局長 中井正和
(産業振興課より)
<前> 事務局長 延安照夫
(税務住民課へ)

編集後記

新緑がまぶしい季節となりました。

始まり、笠木町長と我々第16期議員も1年が過ぎました。今後は、観光DMOやCCR、子育て支援や定住化施策の充実を執行部と共に取り組んでいきたいと思います。

合計特殊出生率に対する議会視察も増加しております。執行部と議員でしっかりと対応して奈義町をPRして参ります。

表紙の“滝シリーズ”も4回目となりました。今後は、町民の皆様より、新たな滝の情報提供をお待ちしております。（桑村）

皆様より、新たな滝の情報提供をお待ちしております。（桑村）

【編集委員】	
委員長	安藤 榮一
副委員長	岡 岳
委員	森 藤 中井 泰洋
議長	小阪 由和
委員	桑 村 政憲
議長	中井 四郎